

尿・便の色が変わる薬！

尿は食べた物や水分量などに影響を受けやすく、日々微妙な変化があります。体調による影響には気を付けなければなりません、薬の影響で尿・便の色も変化します。

● 正常な尿・便の色

正常な尿の色：**透明な淡黄色**（尿量により、濃い薄いあり）

正常な便の色：**黄褐色**（食べた物に左右される）

● 病気や薬の副作用によって色が変わる場合（要相談）

尿	赤っぽい	尿路のどこかで出血している可能性あり
	白く濁る	尿路のどこかで感染が起こっている可能性あり
	褐色尿 + 筋肉痛 + 脱力感	薬の副作用の可能性あり
便	赤くなったり黒ずむ	胃腸で出血の可能性あり 薬の副作用で胃腸が傷ついていることもあり

● 尿の色を変える薬剤

色	薬剤名	備考
黄色	ビタミン B2 製剤（フラビタン、ドリンク剤）	薬の成分の色
黄褐色又は赤色	センナ、センソド	尿のアルカリと反応して着色
赤色	アスペリン、セフゾン	代謝物、セフゾンは不明
黄～茶褐色、緑、青	ミノマイシン（ミノサイクリン塩酸塩）	不明
橙黄色	アドナ（カルバゾクロムスルホン酸 Na）	薬の成分の色

● 便の色を変える薬剤

色	薬剤名	備考
黒色	鉄剤（フェロミア、フェログラ）	吸収されなかった鉄が、腸内で硫酸鉄に変化
赤色	セフゾン	粉ミルク、経腸栄養剤などの鉄分と反応
灰白色	硫酸バリウム	白色のバリウムが吸収されず便に出る

残渣（カス）が便に出る薬剤

薬が体内で徐々に放出されるように工夫された製剤では、残渣（カス）が便中に出ることがあります。心配ありませんが、不安な時は相談して下さい。（残渣はゴーストピル・ゴーストタブレットと呼ばれます。）

★マルチプルユニット

服用後速やかに崩壊し、徐放性を持つ顆粒がゆっくり効く。（テオロング錠）

★シングルユニット

錠剤全体が徐放性を持つ。

- ・膨潤溶解型：ニフェジピン CR 錠
- ・グラデュメット型：フェログラデュメット錠
- ・ワックスマトリックス型：バルプロ酸ナトリウム徐放 A 錠
- ・OROS（オロス）構造：インヴェガ錠



話題の新薬

ラツータ錠 (20mg・40mg・60mg・80 mg)

一般名：ルラシドン塩酸塩

適応：統合失調症

双極性障害におけるうつ状態の改善

禁忌：クラリスロマイシン、アレビアチン

副作用：頭痛、静座不能 等

お気軽に
ご相談下さい



東加古川病院 薬局

加古川市平岡町新在家 1197-3

